

MITSUBISHI

販売店・工事店さま用

ダクト用換気扇 居間・事務所・店舗用

取付工事説明書

形名

低騒音着せ替えインテリアパネル (-Wタイプ)		消音着せ替えインテリアパネル (-Wタイプ)	
VD-15ZX6-W	VD-20ZX6-W	VD-20ZNP6-W	
VD-15ZXP6-W	VD-20ZXP6-W	VD-23ZNP6-W	
VD-18ZX6-W	VD-23ZX6-W	VD-23ZNP6-W	
VD-18ZXP6-W	VD-23ZXP6-W	VD-25ZNP6-W	
VD-25ZX6-W			
低騒音フルフラットインテリアパネル (-Zタイプ)		消音フルフラットインテリアパネル (-Zタイプ)	
VD-15ZX6-Z	VD-20ZX6-Z	VD-18ZNP6-Z	VD-23ZNP6-Z
VD-15ZXP6-Z	VD-23ZX6-Z	VD-20ZNP6-Z	
VD-18ZXP6-Z	VD-23ZXP6-Z	VD-20ZNP6-Z	
VD-20ZX6-Z		VD-23ZNP6-Z	

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお「安全のために必ず守ること」は取付工事上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込みスイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱電機換気送風機カタログより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。

形名によって取付工事が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。

形名確認
グリル表面に貼り付けてあります

VD-20ZNP6-W
VD-23ZN6-W
VD-23ZNP6-W
VD-25ZN6-W
は本体内部に貼付けてあります。

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

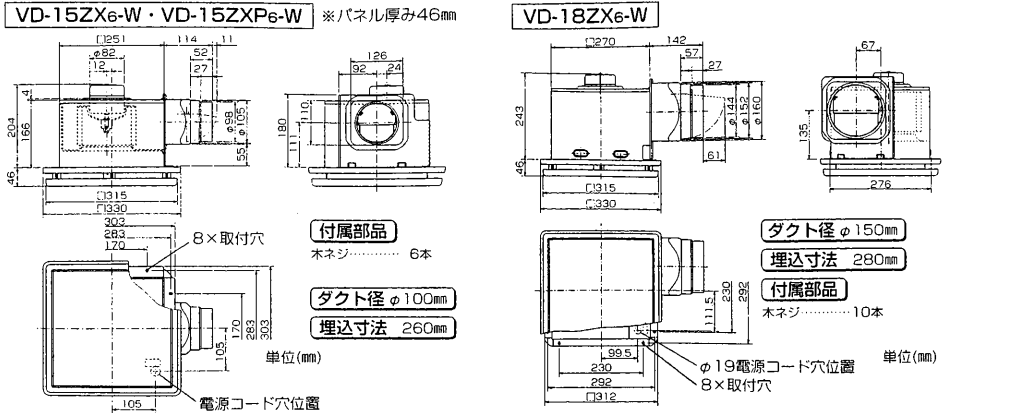
警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

- 禁止** ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない
爆発・引火の原因。
- 水かけ禁止** ●製品を水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因。
- 分解禁止** ●改造や工具を必要とする分解はしない
火災・感電・けがの原因。
- 指示に従う** ●交流100Vを使用する
火災・感電の原因。
●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける
漏電した場合発火の原因。

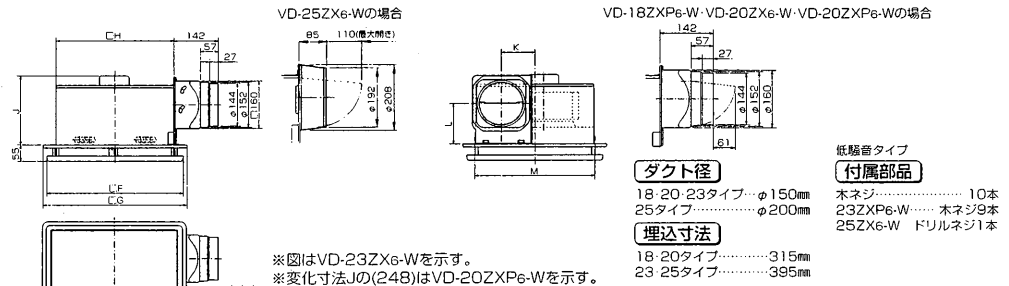
注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 禁止** ●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない
火災の原因。
- 浴室での使用禁止** ●浴室など湿気が多い場所には取付けない
感電・故障の原因。
- 指示に従う** ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に
落下によりけがの原因。
●部品の取付けは確実に
落下によりけがの原因。
●取付の際は必ず手袋を着用する
けがの原因。
●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

2.外形寸法図

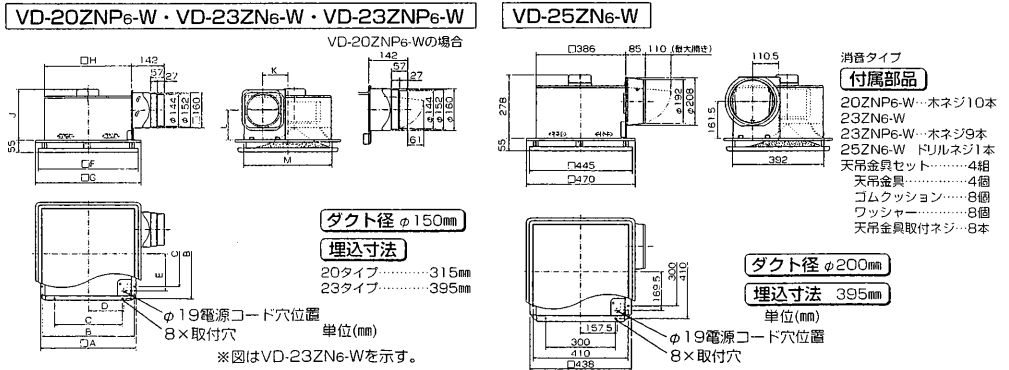


VD-18ZXP6-W・VD-20ZX6-W・VD-20ZXP6-W・VD-23ZX6-W・VD-23ZXP6-W・VD-25ZX6-W



形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
VD-18ZXP6-W									243 (248)	85.5	135	313
VD-20ZX6-W	349	332	200	118	130	355	380	307	232	110.5	135	392
VD-20ZXP6-W									232	110.5	135	392
VD-23ZX6-W	428	410	300	157.5	169.5	445	470	386	278	110.5	161.5	392
VD-23ZXP6-W									278	110.5	161.5	392
VD-25ZX6-W	438	410	300	157.5	169.5	445	470	386				

単位(mm)



形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
VD-20ZNP6-W	349	332	200	118	130	355	380	307	248	85.5	135	313
VD-23ZN6-W	428	410	300	157.5	169.5	445	470	386	232	110.5	135	392
VD-23ZNP6-W	438	410	300	157.5	169.5	445	470	386	278	110.5	161.5	392

単位(mm)




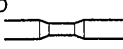
お願い

取付け

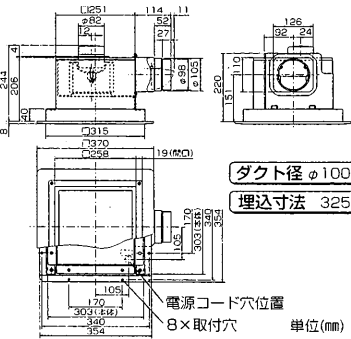
- 高温(40℃以上)になるところに取付けないでください。
- 傾斜天井には取付けないでください。シャッター開閉不良の原因となります。
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。

天井・ダクト工事

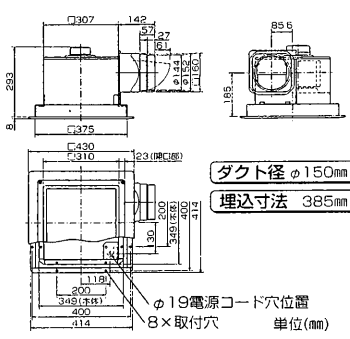
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ(システム部材)または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード(システム部材)などを、外風が強いところでは耐外風フードなどを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために吸気口を設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります)

- 極端な曲げ 
- 多数の曲げ 
- 吐出口のすぐそばでの曲げ 
- しぼり 

VD-15ZX6-Z・VD-15ZXP6-Z



VD-18ZXP6-Z・VD-20ZX6-Z
VD-20ZXP6-Z



付属部品

- 15Zタイプ……ホネジ(9本)
- 18・20・23Zタイプ……ホネジ(8本)
- ドリルネジ(1本)

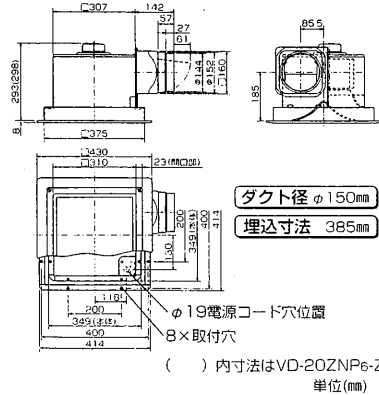
- 天吊金具(ゴムクッション付)
- 15Zタイプ……2個
- 18・20・23Zタイプ……4個

- 天吊金具取付ネジ
- 15Zタイプ……2本
- 18・20・23Zタイプ……4本

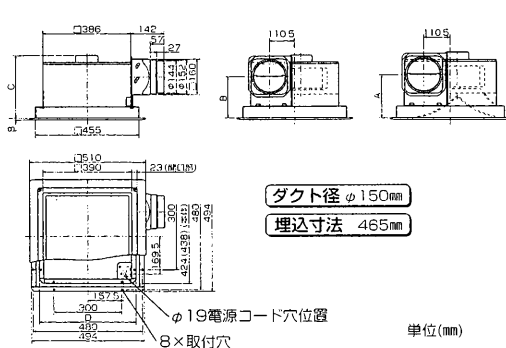
ダクト径

- 15Zタイプ……φ100
- 18・20・23Zタイプ……φ150

VD-18ZNP6-Z・VD-20ZN6-Z
VD-20ZNP6-Z



VD-23ZX6-Z
VD-23ZXP6-Z



VD-23ZN6-Z
VD-23ZNP6-Z

形名	A	B	C	D
VD-23ZX6-Z	-	185	282	428
VD-23ZXP6-Z	-	211.5	328	438
VD-23ZN6-Z	185	-	282	428
VD-23ZNP6-Z	211.5	-	328	438

() 内寸法はVD-20ZNP6-Z
単位(mm)

3.取付方法

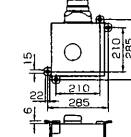
- 1 取付け前の準備
- 2 ダクト工事
- 3 本体を吊る
- 4 電気工事
- 5 軽量鉄骨を組む
- 6 本体の固定
- 7 天井材を張る
- 8 グリルの取付け
- 9 試運転

1 取付け前の準備

取付位置：壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト(M8)を埋込む。(下図参照)

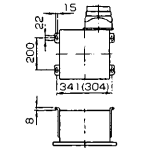
-Wタイプ

VD-15タイプ



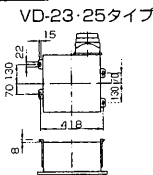
※VD-15タイプの天吊金具はP-05TKを取付ける。

VD-18・20タイプ

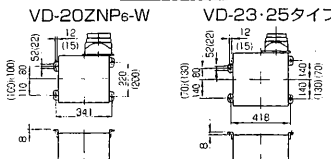


※()寸法はVD-18ZX6-W

低騒音タイプ



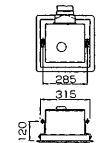
消音タイプ



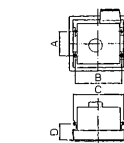
※()寸法は天吊金具P-08TK(システム部材)取付位置
単位(mm)

-Zタイプ

VD-15タイプ



VD-18・20・23タイプ

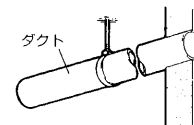


形名	A	B	C	D
VD-18・20タイプ	200	345	375	130
VD-23タイプ	300	425	455	130

2 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクトを配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るす。



3 本体を吊る

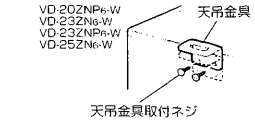
(野縁を使用する場合は裏面 a を参照)

1 天吊金具を取付ける。

-Wタイプ

消音タイプ……付属

- 本体のへこみ部に天吊金具の穴2か所を合わせ、天吊金具取付ネジ2本で固定します。

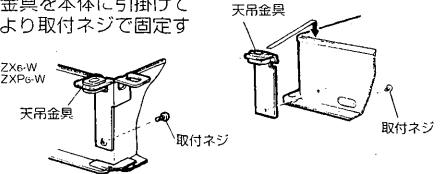


低騒音タイプ……システム部材 P-08TK

(VD-15タイプのみシステム部材 P-05TKを使用)

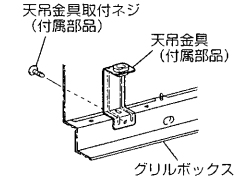
- 天吊金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定する。

VD-15ZX6-W
VD-15ZXP6-W



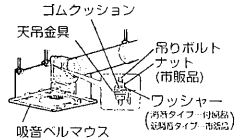
-Zタイプ

- グリルボックスの穴部に天吊金具の穴1か所を合わせ、天吊金具取付ネジ1本で固定します。



2 本体を吊ります。

- 本体が水平になるよう、天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実な処置で固定します。

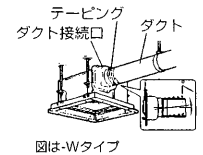


お願い

- 天吊金具を使用しますと、天吊金具取付ネジの先端がグリルボックス外面に出ますので取扱いに注意してください。

3 ダクト接続口とダクトを接続する。

- 接続部は風漏れのないよう市販のテープを巻く。
- 塩化ビニル管との接続は、ダクト方向の調整が可能。(全方向7°)



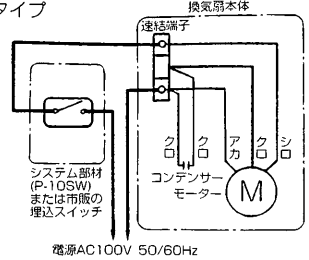
お願い

- 3の接続でダクト接続口にネジ止めする場合は、シャッター動作を妨げない位置へネジ止めをしてください。

4 電気工事 ※連結端子は図と異なることがあります。

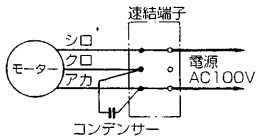
●専門の電気工事店が、電気設備技術基準に基づいて行う。

■結線図 太線部分を結線してください。
VD-15ZXeタイプ



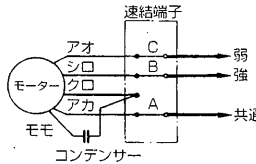
単ノッチ機種

(VD-18ZXe-W, 18ZXPe-W, 20ZXe-W
VD-18ZNPe-Z, 18ZXPe-Z, 20ZXe-Z, 20ZNe-Z)



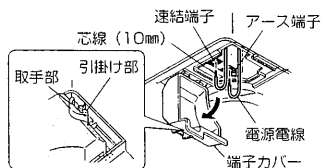
強・弱切換機種

(VD-20ZNPe-W, 23ZNe-W, 23ZNPe-W, 25ZNe-W
VD-20ZXPe-W, 23ZXe-W, 23ZXPe-W, 25ZXe-W
VD-20ZNPe-Z, 20ZXPe-Z, 23ZXe-Z, 23ZXPe-Z
VD-23ZNe-Z, 23ZNPe-Z)



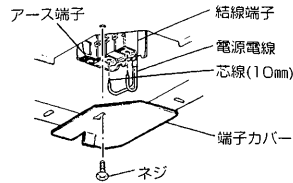
- 本体上部のゴムブッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6, φ2)を通す。
- 端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開け、連結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差込む。(結線図参照)
VD-15ZXeタイプの場合:
端子カバーの取手部に指を掛け下に引いて端子カバーを開け、連結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差し込む。(結線図参照)
- 端子カバーを元通り取付ける。
VD-15ZXeタイプの場合:
端子カバーを元通り取付ける。「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛け部に確実に固定されていることを確認する。

VD-15ZXeタイプ

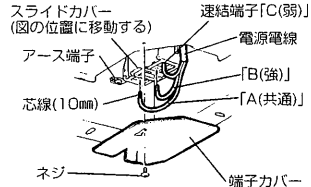


VD-18, 20, 23, 25タイプ

単ノッチ機種



強・弱切換機種

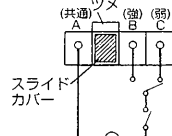


- 強・弱切換機種は単ノッチ使用もでき、その誤結線防止のためスライドカバーがついています。工場出荷時C(弱)部分にカバーがあります。「強」運転状態「弱」運転にする場合は、スライドカバーを移動させてB(強)をふさぎます。

お願い

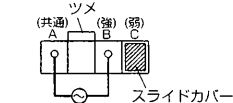
- 強弱運転タイプは、電気結線を間違えたとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はおお客様負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから連結端子に確実に差込んでください。
- 電線被ふくは10mmむいてください。本体にあるストリップゲージに合わせて、皮むきますと便利です。
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。
- 電源電線を連結端子より外す場合は、マイナスドライバーで連結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源電線を引っばって外してください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²を使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください。)

「強」・「弱」切換えて運転する場合

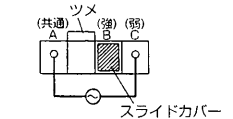


ツメを押えてスライドカバーを移動し、「共通」・「強」・「弱」に入れる

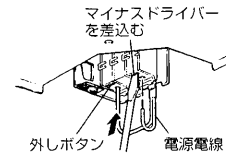
「強」のみで運転する場合



「弱」のみで運転する場合

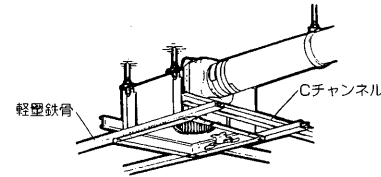


(工場出荷状態) スライドカバーを左へずらし「弱」と「共通」に差込む



5 軽量鉄骨を組む

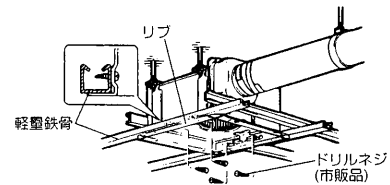
軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで図のように組む。



6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

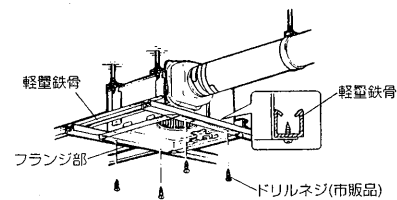
本体内部のリップ(4か所)を利用し、市販のドリルネジ(4本)で軽量鉄骨に固定する。

軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合



本体フランジ部の取付穴を利用し、市販のドリルネジ(4本)で軽量鉄骨に固定する。

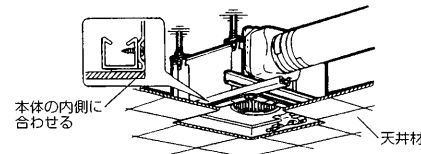
軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合



7 天井材を張る

天井材を張る。

- 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。

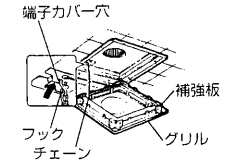


お願い

- 本体固定の際は本体と天井材にすき間のないように固定してください。(すき間があると風漏れの原因になります)

8 グリルの取付け

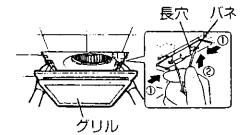
- チェーンを取付ける。
 - グリルの裏側に貼ってある注意ラベルの指示位置に従ってフックを端子カバーの穴に下図のように引掛ける。



2 グリルを取付ける。

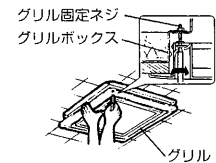
-Wタイプ

- グリルの2つのパネを両手でつかみ、パネを本体内部の長穴に差込む。軽くグリルを押しして天井材に密着させる。



-Zタイプ

- グリルをグリルボックス内に押し上げ、グリル固定ネジ(4本)で天井面に密着するように軽く締付ける。(強く締めすぎると、グリルが変形する恐れがあります。)



お願い

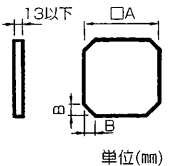
- グリルの4すみに取付けられている補強板は取外さないでください。

グリルと天井材を合わせる場合

-Wタイプ

グリルと天井材が同一で見えの良い取付けかたです。

- (1)天井材を切断する。



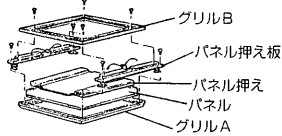
形名	A	B	天井材質量
VD-15タイプ			
VD-18ZXe-W	300	12	0.8kg以下
VD-18ZXPe-W	340	15	1.0kg以下
VD-20タイプ			
VD-23・25タイプ	430	15	2.0kg以下

お願い

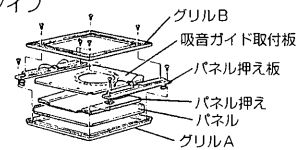
- 天井材は厚さ13mm以下のものを使用してください。
- 天井材は重いもの・われやすいものは避けてください。

- (2) グリルを分解します。
 ●ネジ4本を外して、パネル固定板、パネル押え、パネルの順に取外す。
- (3) 天井材とパネルを入れ替え、天井材の厚みに応じてパネル押え端部の折返し部を切り取りすき間のないように組立てる。

低騒音タイプ



消音タイプ



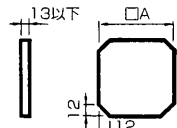
お願い

- グリル裏側に取付けてある吸音ガイドは、こわれやすいものです。取扱いは十分注意してください。

消音タイプ…(VD-20ZNP6-W、23ZNe-W、23ZNP6-W、25ZN6-W)

-Zタイプ

- (1) 天井材を切断します。



形名	A	天井材質量
VD-15タイプ	248	1.0kg以下
VD-18・20タイプ	300	2.0kg以下
VD-23・25タイプ	380	2.0kg以下

お願い

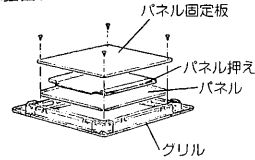
- 天井材は厚さ13mm以下のものを使用してください。
- 天井材は重いもの・われやすいものは避けてください。

- (2) グリルを分解します。

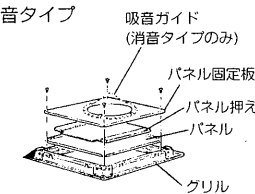
- ネジ4本を外して、パネル固定板、パネル押え、パネルの順に取外す。

- (3) 天井材とパネルを入れ替え、天井材の厚みに応じてパネル押え端部の折返し部を切り取りすき間のないように組立てる。
- 吸音ガイド取付板を取付ける際、吸音ガイド取付板とグリルの刻印「端子カバー側」が同じ位置になるように取付ける。

低騒音タイプ



消音タイプ



お願い

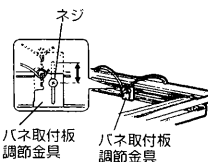
- 消音フルフラットインテリアパネルタイプのグリル裏側に取付けてある吸音ガイドは、こわれやすいものです。取扱いは十分注意してください。

消音タイプ…(VD-18ZNP6-Z、20ZN6-Z、20ZNP6-Z、23ZN6-Z、23ZNP6-Z)

グリルと天井材の間にすき間がある場合

Wタイプのみ、グリルのパネが本体の長穴に届かないときはパネ取付板調節金具の長穴分をスライドさせて調節できます。

- ネジをゆるめ天井材の厚みに応じてスライドさせネジを締め付け固定する。左右同一に調節する。
- 天井材とグリルの間にすき間がないことを確認する。



お願い

- 左右の調節を同一にしてください。

9 試運転

取付工事終了後、次の確認をする。

1. コントロールスイッチによる正常な運転
 - 風は強・弱に切り換わっていますか？(強・弱付のみ)
2. 振動・異常音の有無

別途取付要領

a 野縁に取付ける場合

野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用する。

- (1) 天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

- ダクト接続口を取付ける野縁はC寸法以下にする。

野縁寸法 (-Wタイプ)		単位(mm)	
形名	B寸法	C寸法	
VD-15タイプ	260	40	
VD-18ZX6-W	280	45	
VD-18ZXP6-W	315	45	
VD-20タイプ	315	45	
VD-23・25タイプ	395	45	

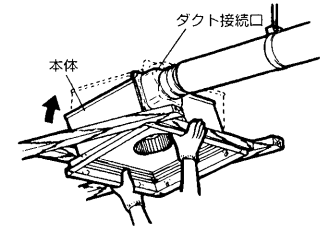
(-Zタイプ)		単位(mm)	
形名	B寸法	C寸法	
VD-15タイプ	325	40	
VD-18・20タイプ	385	45	
VD-23タイプ	465	45	

- (2) 野縁に取付ける。

-Zタイプ

本体を差込みます。

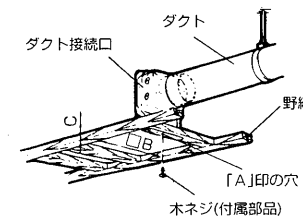
- 本体を斜めに傾け、ダクト接続口から野縁内に差込みます。



-Wタイプ

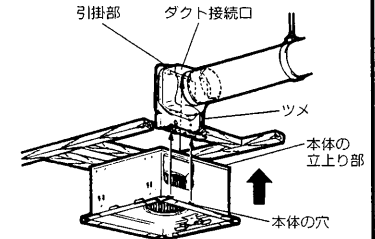
本体よりダクト接続口を引抜き、野縁に取付ける。

- ダクト接続口を壁排気穴に向けて野縁の角の直角に合わせ、すき間がないように付属の木ネジ(1本)で仮固定する。「A」の印の穴を使用)



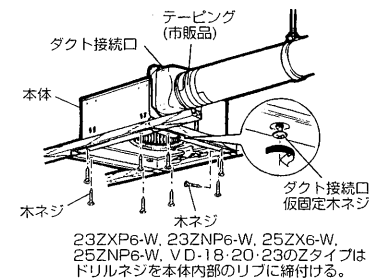
本体を野縁にそって差込み。

- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメ及び、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。

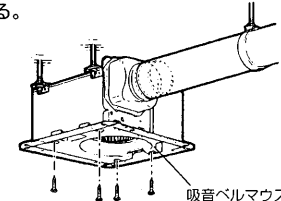


- (3) 本体を固定する。

- 本体がダクト接続口に密着していることを確認し、付属の木ネジ8本(15ZX6-W、15ZXP6-Wは5本)で本体をすき間のないようしっかり固定する。(すき間は風漏れの原因) 1本は本体側面に締付ける。 <20ZNP6-W、23ZNe-W、23ZNP6-W、25ZN6-Wの場合> 吸音ベルマウスを固定しているネジ(4本)を取外し、ネジ(1本)を本体側面に締付け、吸音ベルマウスを元に戻します。



- (4) ダクト接続口を仮固定している木ネジ(1本)を締付け、風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。



取付方法Bの **4 電気工事** へつづく



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。